

中央教育審議会教育課程部会 (第11期第5回 (第127回))

「高等学校学習指導要領の確実な実施」

全国高等学校長協会会長

東京都立小金井北高等学校

杉 本 悦 郎

新学習指導要領の背景

これからの社会

- Society 5.0の実現に向けた急速な技術の進展による社会の急激な変化
- 情報化やグローバル化が進展する社会における予測困難な時代

新しい時代を生きるために

- 自分で課題を見つけて解決策を見出す力や、激しい変化に適応するための資質・能力の育成が必要

東京都「都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）」を受けて

平成31年2月策定 （東京都教育委員会）

新教育課程の編成に当たって

グランドデザインの策定

- 学校の教育目標や育成を目指す資質・能力、それらを達成するための教科等における具体的な評価基準等を可視化した学校の教育活動全般の特色を示し、戦略的に発信することで、都立高校全体の魅力を効果的に高めていく。

教育課程の編成

- 教育課程の編成に対する学校の基本方針を明確にし、各校において、教育課程の編成のための具体的な組織と日程を定め、事前の研究や調査を行い、教育課程を編成する。

カリキュラム・マネジメントの確立

- 学校、地域の実態を適切に把握し、編成した教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動（授業）の質の向上を図る。

東京都「都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）」を受けて

平成31年2月策定 （東京都教育委員会）

グランドデザインの作成

生徒や学校の現状

学校の教育目標

予想される社会の変化

学校経営計画

育成したい生徒像

育成すべき資質・能力

東京都「都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）」を受けて

平成31年2月策定（東京都教育委員会）

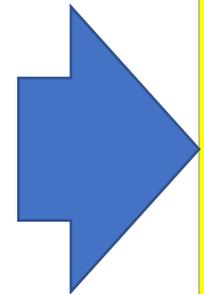
グランドデザインの作成

学力の3要素

育成すべき資質・能力		レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
知識・技能					
表現力 判断力・ 思考力					
性等 学びに向か う力、人間					

育成すべき資質・能力
とその到達目標

ルーブリック：
レベルに対応する達成状況を
示した評価規準



生徒の将来像



【教育目標】

- ① 創造：個性を発揮して、自主的に研究し活動する
- ② 自律：秩序を重んじて、規律を守りよく協調する
- ③ 努力：目的をもって、持てる能力のすべてを投入する

本校は、次代の日本を支えるリーダーを育成する学校として、その使命を果たしていく。学校生活を通して生徒一人一人の自己理解を深めさせ、個性と能力を引き出し伸ばすとともに、人間性を磨き他に対する思いやりの心、自他の生命を尊重する心、社会貢献の精神を育成する。特に生きる力を支える「確かな学力」を身に付けさせ、生徒一人一人の進路実現を図ることを目指す。

【生徒／学校の現状】

進学志向が高まる一方で、多様な生徒にきめ細かく対応するための指導体制の充実を望む声も多い。また、学校は、教育活動等の学校運営の状況について学校評価や授業アンケートを実施し、その結果に基づき学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努めている。

【予想される社会の変化】

生産年齢人口の減少や高齢化が加速し、SDGsの実現やSociety 5.0の到来に向けた現代的な諸課題に対応することのできる人材の育成が求められる。また、情報通信技術の向上に伴い、IoT、AI等を活用する基盤整備が更に進展する。



【学校の教育目標を達成するための基本方針】

- ① 生徒の高い進路希望を実現することのできる学習指導と進路指導を実践する。
- ② 文系・理系に関係なく、生涯にわたって学び続けることのできる基礎・基本を習得させる。
- ③ 各教科等で育む資質・能力を明らかにし、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点から教育活動の改善を行う。
- ④ 学習活動と特別活動のバランスをとり、すべての教育活動を通じて、豊かな人間性・社会性を育む。
- ⑤ 学校評価を生かした教育課程の編成・実施・改善に取り組む開かれた学校にする。
- ⑥ 特色ある教育活動を通じて、国際的な視野、探究的な態度、社会貢献の精神などを醸成する。
- ⑦ 土曜授業等を活用し、生徒の学力向上の促進を図る。

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき9の資質・能力】

基本的な知識・技能の習得	知識・技能	基礎的・基本的な知識及び技能の定着させる
	読解力	通常の記事の他、図やグラフ、表などテキストから、情報を取り出し、理解・解釈する力を身に付ける
思考力・判断力・表現力の育成	情報活用力	課題や目的に応じ、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造する能力を身に付ける
	論理的思考力	演繹的思考・帰納的思考・類推などの方法を使い、筋道立てて考える力を身に付ける
	課題解決力	課題を発見し、情報をもとに判断し、解決する能力を身に付ける
学びに向かう力、人間性等の育成	発信力	自分の考えを記述・論述するとともに、分かりやすく他者に伝える方法を身に付ける
	自己調整力	自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組むとともに、自己評価に基づき、改善する
	主体性・協働性	主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ
	粘り強さ	問題解決に当たって、粘り強く考え、よりよい解決策を導く



【目指す学校】

- ① 国公立大学や難関私立大学等、生徒の高い進路希望を実現する学校
- ② 豊かな人間性・社会性、自らを律する心、強健な心身を育成する学校
- ③ 多様性を認め、自他の文化を尊重するグローバル人材を育成する学校



【東京都教育委員会の指定校事業、特色ある教育活動】

- ◆ 進学指導推進校
高い将来の目標に向かって自ら進路選択ができ、意欲的に勉学に取り組む生徒の進学希望をかなえる
- ◆ 英語教育推進校
英語4技能をバランスよく育成し、生徒の英語力の向上を図る
- ◆ 理数研究校
理数系の素養をもつ生徒の裾野を拡大する教育活動を実践する
- ◆ 海外学校間交流推進校
姉妹校をはじめとする海外の学校との相互交流など、国際理解教育を推進する
- ◆ 東京学芸大学との高大連携
将来の東京の教育を担う人材の育成に向けて、「高大連携による教員養成プログラム」を推進する

【目標達成度評価基準（ルーブリック）表】

	A（レベル3）	B（レベル2）	C（レベル1）
知識・技能	基礎的・基本的な知識及び技能の定着が確実に図られている	基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られている	基礎的・基本的な知識及び技能の定着が十分ではない
読解力	テキストから、情報を取り出し、理解・解釈し、活用することができる	テキストから、情報を取り出し、理解・解釈することができる	テキストから、情報を取り出し、理解・解釈が十分にできていない
情報活用力	課題や目的に応じ、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、活用・行動することができる	課題や目的に応じ、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造することができる	情報を収集・判断・表現・処理・創造が十分にできていない
論理的思考力	演繹的思考・帰納的思考・類推などの方法を使い、筋道立てて考え、解決策を導くことができる	演繹的思考・帰納的思考・類推などの方法を使い、筋道立てて考えることができる	演繹的思考・帰納的思考・類推などの方法が十分に使えていない
課題解決力	課題を発見し、情報をもとに判断し、解決することができる、次の課題につなげることができる	課題を発見し、情報をもとに判断し、解決することができる	課題を発見し、情報をもとに判断し、解決が十分にできていない
発信力	自分の考えを適切に記述・論述するとともに、相手の立場に立ち、分かりやすく伝えることができる	自分の考えを記述・論述するとともに、分かりやすく他者に伝えることができる	自分の考えを記述・論述し、他者に伝えることが十分にできていない
自己調整力	自己の学習目標を適切に設定し、計画を立てて意欲的に学習に取り組みとともに、自己評価に基づき、積極的に改善を図ろうとしている	自己の学習目標を設定し、計画を立てて学習に取り組みとともに、自己評価に基づき、改善を図ろうとしている	自己の学習目標を設定し、計画を立てた学習に十分に組み組んでいない。また、改善が十分に図れていない
主体性・協働性	主体性をもって、積極的に多様な人々と協働して学ぶことができる	主体性をもって、協働して学ぶことができる	主体性をもって、協働して学ぶことが十分にできていない
粘り強さ	問題解決に当たって、多様な考えを受け入れ、粘り強く考え、よりよい解決策を導こうとしている	問題解決に当たって、あきらめずに考え、解決策を導こうとしている	問題解決に当たって、すぐにあきらめてしまうなど、十分な解決策を導くことができていない

【小金井北高校の7の取組】

1 基本的な知識・技能の確実な習得	<ul style="list-style-type: none"> 各教科等における基礎・基本の定着 文章や図表等を正確に読み解く力の育成 様々な事象を多面的・多角的に捉える力の醸成 自主学習時間の確保と各教科の課題の精選
2 思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> 問題発見・解決のプロセスを取り入れた授業 記述力・論述力の育成と考査による検証 すべての授業を通じた言語力の育成 定期的な小論文指導
3 科学技術・理数教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 大学等との連携や課外活動等 (理数) 理数に関するテーマ研究、成果発表 (理数) 各種科学コンテスト等への参加 (理数) プログラミング学習
4 グローバル人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 4技能のバランスのとれた英語教育の指導 (英語) JET等を活用した交流活動 (英語) 次世代リーダー育成道場等海外留学の奨励 海外学校間交流の推進 (海外) 異文化体験活動の充実 (海外)
5 探究活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決型授業の実践 「総合的な探究の時間」の活用 ICT機器を活用した調査研究・発表活動 実験・実習を取り入れた授業 知識の深化や総合化を図る学習活動の推進
6 豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教養教育の実践 (進学) 地域と連携した教育活動 (高大) 学校内外でのボランティア活動の推奨 (高大) 特別活動・部活動を通じた自主自律の育成
7 一人一人の進路希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> 文理バランス良く学習できる教育課程 (進学) 組織的・体系的なキャリア教育の推進 (高大) データに基づく個別の進路指導 (進学) 長期休業日等での講習・補習の充実 個人面談・三者面談による生徒理解

令和3年11月改訂

※ 今後、新学習指導要領の実施を踏まえた修正やスクールミッションやスクール・ポリシーの追加等の見直しを行う予定。

平成30年告示高等学校学習指導要領に対応した 令和7年度大学入学共通テストからの出題教科・科目について

令和3年3月24日 (独立行政法人大学入試センター)

新学習指導要領に対応した大学入学共通テストの出題教科・科目

教科	グループ	出題科目
国語		『国語』
地理歴史		『地理総合,地理探究』 『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合,歴史総合,公共』
公民		『公共,倫理』 『公共,政治・経済』 『地理総合,歴史総合,公共』 (再掲)
数学	①	『数学Ⅰ,数学A』 『数学Ⅰ』
	②	『数学Ⅱ,数学B,数学C』
理科		『物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎』 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』
外国語		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』
情報		『情報』

新しい時代の高等学校教育の在り方ワーキンググループ（審議まとめ）

令和2年11月13日 （新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会）

（スクール・ミッションの再定義）

各高等学校の存在意義・社会的役割等の明確化

- 各設置者が、各高等学校の存在意義や社会的役割、目指すべき学校像をスクール・ミッションとして再定義

（スクール・ポリシーの策定）

各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針の策定

- 各高等学校は、高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものに再構築するため、「育成を目指す資質・能力に関する方針（**グラデュエーション・ポリシー**）」「教育課程の編成及び実施に関する方針（**カリキュラム・ポリシー**）」「入学者の受入れに関する方針（**アドミッション・ポリシー**）」を策定・公表

平成30年告示高等学校学習指導要領を受けて

平成30年3月30日 (文部科学省)

各教科の学習評価の改善点

観点別学習状況の評価の観点の整理

- 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」

高等学校における観点別学習状況の評価

- 指導と評価の一体化を図る中で、パフォーマンス評価を取り入れ、ペーパーテストの結果に留まらない、多面的な評価を行っていくことが必要。

高等学校における観点別学習状況の評価の充実

- 指導要録の参考様式に各教科・科目の観点別学習状況を記載する欄が設置

カリキュラム・マネジメント —教育課程を軸とした学校教育の改善・充実—

① 教科横断的な視点

- 教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる

② 資質・能力を育む指導のPDCAサイクルの確立

- 教育課程の実施状況を評価してその改善を図る

③ 開かれた教育課程

- 地域と連携・協働し、よりよい社会を創るという目標を共有し、目指すべき学校教育を実現する。

